

校長室だより

令和2年6月1日
校長 斎藤 瑞穂



元気なみんなと会えました！

5月28日（2～6年）・29日（1年）は登校日でした。久しぶりに元気な杉七小のみなさんに会えて、とてもうれしかったです。4月6日の始業式・入学式以来、なんと50日以上ぶりの学校でしたから、緊張していた人も多かったかな？

それにしても、しばらく見ないうちにぐんと大きくなっていた人がいたのにはびっくり！また、学年ごとに時間差をつけて登校してもらいましたが、心配していた遅刻も混乱もなかったのにも驚きました。休校の間もリズムを乱さず落ち着いて生活していた証拠ですね。すばらしい！！

「命を守る学校ルール」

6月からの学校再開に向け、担任の先生から、杉七小の「命を守る学校ルール」の説明がありましたね。どの学年の人たちも、真剣な顔でしっか



1年生も真剣に聞いています。

り聞いているのを見て、「さすが杉七小の子供たちだな」と感心しました。命を守るためにルールは、どんなルールよりも優先して守らなければならぬルールです。自分の命はもちろんですが、クラスの友達、家族のみなさんのためにも、みんなで気付けていきましょう。

保護者の皆様

おかげさまで学校を再開することができました。これもひとえに、体校中、子供たちの家庭学習等への保護者の皆様の手厚いご協力の賜物です。心より感謝申し上げます。子供たちとともに、これからは「コロナと生きる新しい学校生活」を試行錯誤しながら充実させてまいります。今後も変わらぬご支援をお願いいたします。

不安なこと、困ったことはないかな？

元気でかっこいい杉七小のみなさんといっても、夏休みよりもずっと長いお休みでしたから、いつもの調子を取り戻すには時間がかかると思います。「体は元気だけど、なんとなくだるくて学校に行きたくないな」とか、「久しぶりに会った友達は前みたいに仲良くしてくれるかな」「新しいクラスで友達ができるか心配…」という人もいるでしょう。

不安なことや困ったことがある人は、一人で悩まないで誰かに相談してください。家族にでも、担任の先生にでも、保健室の先生にでもかまいません。スクールカウンセラーさんでもいいですよ。

楽しく明るい気持ちで学校へ来られるように、一緒に考えていきましょう。

夏がやってきました。



5月に入ってからは気温が高い日が増え、東京でも11日、青梅市で真夏日が観測されました。5月に真夏？とくびをかしげたくなりますが、「真夏日」の「真夏」は、季節ではなく気温の高さを表しています。

夏日 … 最高気温 25℃以上

真夏日 … 最高気温 30℃以上

つまり、めったにないと思いますが、3月でも最高気温が25℃以上になれば「夏日」なのです。

ちなみに、「夏日」も「真夏日」も気象用語（気象庁が設定している用語）で、気温を数字だけで示されるより暑さが想像しやすいですね。

さて、最高気温 35℃以上は「何日」でしょう？

また、「冬日」「真冬日」の気温は？

ぜひ調べてみてくださいね。